

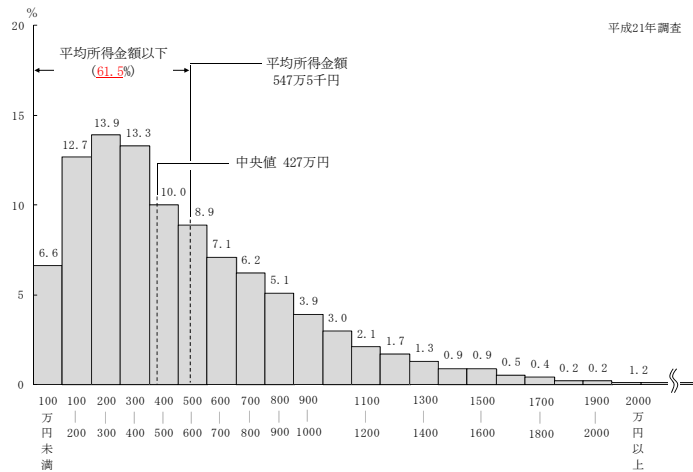
【誤（平成22年5月20日公表）】

2 所得の分布状況

所得金額階級別に相対度数分布をみると、「200～300万円未満」が13.9%、「300～400万円未満」が13.3%と多くなっている。

中央値は427万円であり、平均所得金額（547万5千円）以下の割合は61.5%となっている。（図8）

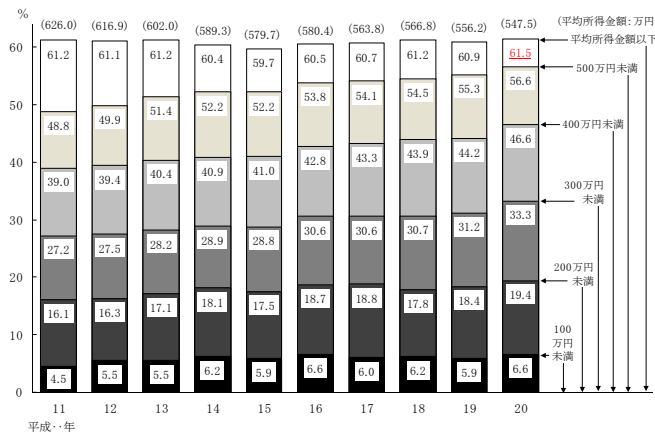
図8 所得金額階級別にみた世帯数の相対度数分布



「平均所得金額以下」の世帯の所得金額階級別累積度数分布をみると、「500万円未満」は56.6%となっている。また、年次推移をみると、すべての階級で上昇傾向となっている。

（図9）

図9 平均所得金額以下の世帯の所得金額階級別累積度数分布



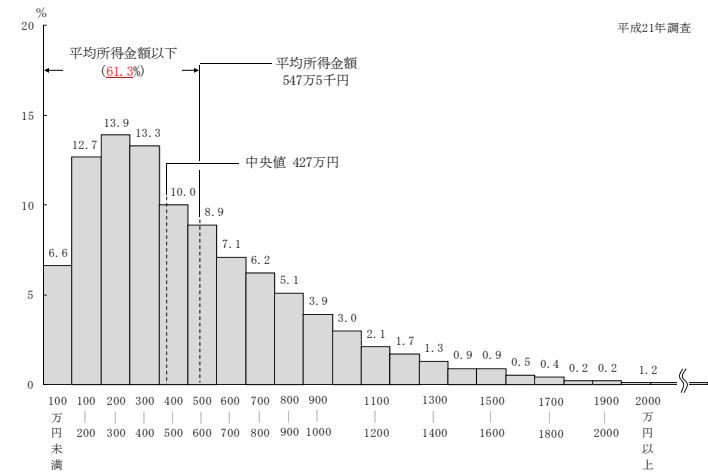
【正】

2 所得の分布状況

所得金額階級別に相対度数分布をみると、「200～300万円未満」が13.9%、「300～400万円未満」が13.3%と多くなっている。

中央値は427万円であり、平均所得金額（547万5千円）以下の割合は61.3%となっている。（図8）

図8 所得金額階級別にみた世帯数の相対度数分布



「平均所得金額以下」の世帯の所得金額階級別累積度数分布をみると、「500万円未満」は56.6%となっている。また、年次推移をみると、すべての階級で上昇傾向となっている。

（図9）

図9 平均所得金額以下の世帯の所得金額階級別累積度数分布

